

## 第2回 京都市立総合支援学校等における医療的ケアの安全管理に関する会議

日 時：平成31年2月28日（木）14時～16時

場 所：総合教育センター第4研修室

出席者：長谷川 功 委員，大前 禎毅 委員，川本 弥生 委員，  
加地 宝治 委員，加藤 勉 委員，小島 恭子 委員，  
田中 由美子 委員，白波瀬 克則 委員，長光 裕子 委員，  
伊藤 宏 委員，浜口 雄二 委員

### 次 第

1. 開会挨拶
2. 出席者紹介
3. 30年度の事業報告及び今後の取組について
4. 今後の取組・課題についての意見交換

### 【摘録】

今後の取組・課題についての意見交換

#### ○医療的ケア実施マニュアル作成について

- ・たとえば、酸素療法を行っている子どもでも、一時的に酸素吸引が外せる子どもがいるが、その外した時間が募ることで後々に子どもの発育等に影響する可能性がある。そのため、学校では酸素吸引は外すことはできないということを保護者に理解してもらう必要がある。その場だけでのことではなく、子どものことを長い目を見た教育プログラムの観点からマニュアルを作成すべき。

#### ○研修の充実について

- ・常々看護師は医療の最新情報を求める声を聞いている。

#### ○医療や福祉との連携について

- ・子どもたちの生活を見ている人（ヘルパーや訪問看護の方）から、積極的に情報を伝達してもらうなど、福祉の側から学校に関わってもらう必要があると思う。
- ・保育園でも、数年前まで医療的ケア児を預かる園はなかったが、この数年間で急激に状況が変わっている。
- ・就学前の医療的ケア児が増えているという情報は耳にしている。医療的ケア児を預かる保育園は今後増えてくるだろう。